



家畜保健衛生所だより

R6.4.26

大型連休中の防疫対策の徹底について

これからゴールデンウィークを迎え、人やモノの動きが活発化していきます。

引き続き警戒を緩めることなく飼養衛生管理を徹底し、病原体の侵入防止に万全を期すようお願いします。

【各疾病の状況】

○ 豚熱 (豚・いのしし)

・香川・徳島・高知等の近隣県では、野生いのししにおける感染が続いています。
・昨年8月には、野生いのししの感染が見つからない九州において養豚場での発生があり、人やモノによって農場に侵入した可能性が考えられます。

○ アフリカ豚熱 (豚・いのしし)

・近隣国において発生が拡大しており、昨年12月以降、韓国の釜山広域市では野生いのししにおける本病の感染が続発しています。
・違法に持ち込もうとした肉製品からアフリカ豚熱ウイルスが検出されるなど、国内への侵入リスクは非常に高い状況です。

○ 口蹄疫 (牛、豚、その他偶蹄類)

・韓国、北朝鮮、ロシア、中国、モンゴル等のアジア周辺諸国において2019年以降、散発的に発生しています。

○ 高病原性鳥インフルエンザ (家きん)

・昨年11月以降、全国9県10事例が確認されています。
・4月に入っても国内の野鳥でウイルスが検出されており、引き続き警戒が必要です。

再徹底をお願いします！

■ アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への海外渡航は自粛を

■ 外国人従業員を受け入れている施設では、日本への持込みが禁止されている肉製品等が持ち込まれることのないよう、当該従業員等への指導の徹底

・国際郵便物等の中に肉製品等を確認した場合は直ちに動物検疫所に連絡を。

■ 衛生管理区域及び畜舎内への病原体の侵入防止対策の徹底

・看板を設置し、必要のない人の立ち入りや、不要物の持ち込みを防ぐ。

・野生いのししの活動が活発化する時期であることから、農場内及び周囲の掃除や除草を行い、野生動物の隠れ場所を作らない。

・野生動物の侵入防止のため、防護柵・防鳥ネット等について定期的な点検・修繕を行う。

■ 家畜の毎日の健康観察を行い、異状の早期発見・早期通報を

中予家畜保健衛生所 TEL 089-990-1333

★携帯電話 090-6282-6129(連休期間、休日、平日夜間)